

94 この世がなんなのか

1 この世がなんなのか 合唱
この世がなんなのか 世の宝のことを
わがイエスだけが わが喜びなれ
あなただけが 寄る辺と頼み
わが憩いなれ この世には求めない。

2 この世は はかない煙のような アリア・バス
この世は はかない煙や陰のように、
たちまち消える。
束の間の泡沫(うたかた)に過ぎない。
だがすべてが倒れ、 砕ける時、
イエスは揺るがぬ心の抛り所、
私の心の抛り所である。
それゆえこの世がなんだと私は問おう。

3 この世は栄光と名誉を求める コラールと朗唱
この世は栄光と名誉を求め、
位の高い人に群がる。
たかぶる者は宮殿を建て、 最高の地位を求め、
紫の衣をまとい、 着飾る。
金、 銀や絹など、 その名は広まり、
世の隅々に鳴り響く。
その鼻は空の雲に届くほどに
高きのみを求め、 顧みはしない。
彼らの滑り落ちることはいかに速いことか。
時に、 むなしい風が吹き、
太ったからだを墓場へ送る時、 その栄華は失せる。
哀れな虫のようにおごれる国の戯れは、
ああ、 はるかな彼方に放たれ追いやられる。
されど我が誇りとするものは、
キリスト者に真の名誉と栄光を与え。
むなしい淵より私を救った霊。
それはイエス一人だけ、 また永遠のたからである。
世は価値なしとしても、 この世は何だろう。

4
欺かれたこの世、
その富と宝は欺かれたもの
むなしい富を数えてみよ。
私はこれらに背を向けイエスだけを選ぼう。
イエスだけが私の心の宝。

5 世はわずらっている コラールと朗唱・バス
世はわずらっている コラール
何にわずらっている。 朗唱
愚かしい、 悩ます者は
辱めを受けたときに コラール
世よ、 恥じよ、 神は世を愛して一人子を賜い
罪のゆえに辱められ、 あなたを救ったのに
イエスのために苦しみを受けないのか。
世の悲しみは大きいものではない。 朗唱

企んで名声を貶めることこれなり。 コラール
優れた道は 朗唱
イエスの重荷を分かち、 御心を歩むこと コラール
その苦しみはひと時であり、 永遠の時には、 それにか
わり
賞賛と誉れを受けん。 この世が嘲り、 辱め、 葬ると
き、
イエスは私を受け入れ 朗唱
ねぎらわれる。 この世は何なのか。 コラール

6 世は歓楽の虚栄の幻を アリア・テノール BWV94_6
世は歓楽の虚栄の幻を高からかに称えてやまない。
世は歓楽の虚栄の幻を称え、 顧みず称える。
世は糞土のような黄金を地中深くに掘りあさり、
夢中になり、 天をわすれる。
世は糞土のような黄金をモグラのように地の中に掘りあ
さり、
天のことを忘れ去る。

7 見えない世界にとらわれて アリア・ソプラノ
見えない世界にとらわれて
何も心にかかけなければ
この世はただおぞましい。
私はイエスだけを愛する。
私は悔い改め信じる。
かくて、 豊かに、 幸せになるだろう。

8 この世がなんなのか コラール
この世がなんなのか、
世はすぐに消え去る。
宝や名誉は 死に勝つ力はない。
貪欲よ去れ、 イエスがいませば、
今一度言おう、 この世に求めない。
この世がなんなのか、
イエスこそわがいのち。
わが宝また名誉 わがすべてのもの。
み国のすべて わが身に余る、
今一度言おう、 この世に求めない。

1724年8月6日 三位一体第9主日の礼拝で初演
聖書 試練と共に、 逃れる道も備えられている。 I コ
リント 10:6-13 と不正な家令の話、 ルカ 16章
の礼拝のために作曲された